

# テーマ：なりきる

北品川第二保育園（品川区） 対象年齢 5歳児

～テーマを設定する～

生活の中で、行ったことのあるお店（お寿司屋、お菓子屋など）を再現し、お寿司やクッキーなどを製作し楽しんでいる。身近な生活のいろいろな場面における物事や人の行動への興味や関心が表れているため、様々なお店、役割、人々の働きなどを探究したいと考え、テーマを設定した。

## 活動①：お店屋さんごっこ

### ねらい

- ・準備してきたものを使い、お店屋さんごっこをして役割（お店屋さん、お客さん）になりきることを楽しむ
- ・遊んでみて必要だと感じた物を作り、遊びに生かそうとする
- ・気づいたことを言葉にしてみる

### 用意した環境設定

作った商品をお店ごとに設置する

（飴、ケーキ、クッキー、アクセサリ、肉やとうもろこしなどのBBQ  
ジュースやかき氷、おみくじ） 作成した手提げ袋

### 子どもたちの様子

- ・普段はあまり大きな声で喋らない子も、お店屋さんになりきって大きな声で「いらっしゃいませー!」と、声をかけていた。
- ・買ってもらえてうれしい、友達とおいしく食べる真似をして楽しいなど、友達との関わりで様々な気持ちを表現していた。
- ・自分で考え、その場で必要な物を作ったり、友達や保育者が作る様子を見て真似したり、ヒントを得て別の物を作ったりしていた。
- ・金銭のやり取りが現金だけではなく、QRコードやクレジットカード決済ができるように、その場でバーコードやスマートフォンを作って遊びに生かしていた。

### 保育者の気づき

振り返りでは、お店屋さんを先に振り返ったが、子どもにとってより身近な立場のお客さんから振り返ると、もっとたくさんの意見が出たのではないかと感じた。

### 活動内容

- ① お店屋さんとお客さんの2グループに分かれ、2つの役割を順番に経験する



お客さんが見やすいように  
きれいに並べよう～

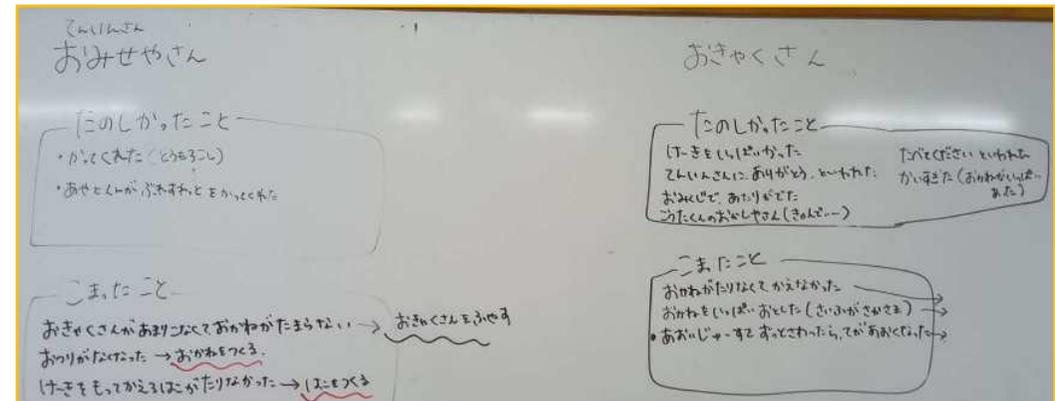
チョコケーキとクリーム  
のケーキがあります!

どれにしようかな～♪

レジが必要だと考え  
すぐに空き箱で用意…  
やるのが早い!! (保育者より)



- ② 振り返り、気づいたことを発表する



## 活動②:子どもなまつり(お店屋さんごっこ)

### ねらい

- ・お店屋さんごっこで、それぞれの役割(お店屋さん、お客さん)を楽しむ
- ・異年齢児や他クラスの保育者と関わりを楽しむ

### 用意した環境設定

- 作った商品をお店に並べる
- (飴、ケーキ、クッキー、肉やとうもろこしなどの BBQ、ジュースやかき氷などの冷たい物
- ヨーヨー) 作成した手提げ袋

### 活動内容

- お店屋さんとお客さんになりきり、役割を交代しながらごっこ遊びを楽しむ

これ ください!



いらっしゃいませー!  
つめたいものやさん  
でーす!



ヨーヨーつり  
おねがいしまーす



やきたてだよ~



みんなでたべると  
おいしいね♪

### 子どもたちの様子

- ・低年齢児の目線に合わせるよう、腰を低くして接客していた。
- ・お店屋さんになり、隣の店が賑わってきた時に「こっちもおいしいですよ~」と積極的にお客さんを呼び込んでいた。
- ・「いっぱい買ったよ」と手提げ袋を保育者に見せ、友達や異年齢児と一緒にうれしそうに買った物を食べる真似をしていた。
- ・金銭のやりとりがなくても、お店屋さんになりきって、お客さんとのやりとりを楽しんでいた。

### 保育者の気づき

子ども同士をつなげる援助、場を設定して遊びの幅を広げていく援助、イメージを実現する力につなげる援助をしていくと、子どもが自ら関わり、新たな発見をし、主体的・共同的に探究して表現する力を育てられることが分かった。



### 活動③:年賀状ごっこを経て、郵便局やポストはどこにあるんだろう?

#### ねらい

- ・送り先の人に伝えたいことや、どのようなことを書いたら喜んでくれるのか考えながら書くことを楽しむ
- ・年賀状をもらったり、相手に届いたりしたうれしさを感じる

#### 用意した環境設定

鉛筆、色鉛筆、画用紙で作った実物より大きめのはがき、ひらがなの一覧  
手作りポスト、郵便バッグ、シール、おりがみ など

#### 活動内容

- ・12/24 年賀状を書き、手作りポストへ投函する
- ・1/5 年賀状を仕分け、配達する
- ・1/7 ポストや郵便局を探そう

#### 子どもたちの様子

- ・保育園の住所や郵便番号を、はがきに書くようホワイトボードで知らせると、文字だけでなく位置も真似して書いていた。また、文字を書くことが苦手な子は、折り紙を折って貼ったり、絵を描いたりして楽しんでいた。
- ・材料を用意しておく、必要な物を子ども自身が考えて作りだし、より、やりとりを楽しんでいた。
- ・「家でも、お母さんに年賀状がきてたよ」と話していた。
- ・ポストがどこにあるのか、ポストに何が書かれているのか街に探しに行くと、集配時間にも着目し「この近くは一人で集めているのかな?」「バイクで集めるのかな?」と、子どもたちなりに考えていた。

#### 保育者の気づき

情報伝達はスマートフォンが主流になり、手紙でのやりとりの機会が少なくなったこの時代。手紙のやりとりの楽しさや、身近な郵便を知らせることができてよかった。卒園に向け、今後は他クラスの保育者や子どもに感謝の手紙を書くなどして、作ったポストや郵便バッグを用いながら、手紙のやりとりを楽しんでいきたい。

ポストをつくろう!

じぶんのゆうびんバッグをつくってはいたつしよう



## 活動④: はがきを送ったら、気になることがいろいろあったよ

### ねらい

- ・はがきを送り、相手に届くのを心待ちにする
- ・気になることを郵便局員に質問し、知ったことを遊び(郵便ごっこ)に生かす

### 用意した環境設定

人数分のはがき、筆記用具、はがきがいつどの地方に届いたかの確認表  
質問をまとめたメモ用紙、サンプルの切手、封筒の見本

### 活動内容

- ・1/20 送りたい人(祖父母、叔父叔母、家族)にはがきを書き、送る
- ・毎日、朝の会で、送り先にはがきが届いたか確認する。また、返事があつたか、何円の、どのような切手が貼られていたかを確認する
- ・1/29、30 質問内容をまとめ、郵便局へ行く

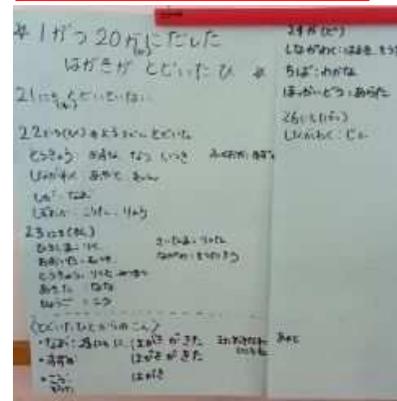
### 子どもの様子

- ・緊張しながらも、メモ用紙を見ながら自分で質問していた。
- ・質問の返答を聞き、疑問に思ったことを再度質問する場面があつた。
- ・封筒を作って切手のサンプルを貼り、中に手紙を入れて配達ごっこをするようになった。

### 保育者の気づき

郵便配達員を街で見ながら「北海道へのお手紙は飛行機で運ぶのかな?」など疑問をもち、自分たちで解決しながら遊びに取り入れていく様子を見て成長を感じた。「おばあちゃんからのお手紙にはドラえものの切手が貼っていて、110って書いてあつた」など、送り先からの返信にうれしさや気づきがあり、一層郵便への興味につながつた。今後は他クラスや職員を巻き込み、保育園全体で郵便ごっこを発展させたい。疑問をどうやったら解決できるか考え実践したり、興味があることにじっくりと取り組めたりできるような環境を作る。

はがきおねがいします!



きつてのおかねはどうしてたかくなつたの?



どこの地域にいつ頃届くの?  
遠いところにはどのようにして運ぶの?  
切手の種類は?  
折り紙に切手を貼れば届くの?



〒ゆうびんです!